

「話すこと [発表]」の指導における目的をもって考えや気持ちなどを伝える活動（小学校）

1 単元名

NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 7 「Welcome to Japan.」

2 内容のまとめ

小学校第5学年 「話すこと [発表]」ア

3 単元の目標

日本の四季や文化などについて、短い話を聞いてその概要を捉えたり、日本の文化についてよく分かってもらえるように、内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えたりすることができる。

4 単元の評価規準「話すこと [発表]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 日本の四季や食べ物、遊びなどの文化に関する語句、We have ~ in... I usually ~. It's ~. の表現について理解している。</p> <p>[技能] 自分が紹介したい日本の文化などについて、行事や食べ物、季節、遊び、日本文化に関する語句、We have ~ in... I usually ~. の表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>相手に日本の文化をよりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、自分の好きな季節などについて、考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>相手に日本の文化をよりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、自分の好きな季節などについて、考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（8時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見直しをもつ。</p> <p>■日本の四季や文化についてのやり取りを聞いて、おおよその内容を理解する。</p> <p>①登場人物の話聞き、内容に合うイラストを選ぶ。</p> <p>②自分がお正月にすることを考えたり話したりする。</p>	○			
2	<p>■日本の四季や文化についてのやり取りを聞いて、その概要を捉え、様々な視点から考えることで、日本文化について再発見する。</p> <p>①アメリカの文化について、写真などを見ながら話された内容を聞いて、日本の文化と比較して考える。</p> <p>②登場人物の話聞き、内容について気付いたことを発表し、日本の季節や食べ物、遊び、形などの言い方を知る。</p>		○		
3	<p>■自分の好きな季節と行事を関連付けながら、教科書の対話文を参考に、日本の遊びや行事などについて伝え合う。</p> <p>①好きな季節を尋ね合う。</p> <p>②日本の遊びや行事などについてクイズを出し合う。</p>	○	○		
4	<p>■日本の行事ですることや食べるものについて尋ね合う。</p> <p>①それぞれの季節にすることやできることを伝え合う。</p> <p>②日本にはどんな行事があるか考えて、その行事にすることや、食べるものについて尋ね合う。</p>		○		
5	<p>■自分の好きな季節とその理由について、伝えたい内容を整理する。</p> <p>①好きな季節とその理由について尋ねたり答えたりする。</p> <p>②紹介したい日本文化について相手に伝わるように内容を整理し、日本の四季ポストカードを作成する。</p>		○	○	行動観察 カード記述 分析
6	<p>■外国の人に日本のよさを分かってもらうために、日本の四季や文化について紹介する。</p> <p>①前時に作成したカードを使い、ALT へ向けて伝えたい日本の文化を発表する。</p> <p>②友だちの発表を聞いて、分かったことや、よかったことをワークシートに書く。</p>	○	○	○	行動観察 (動画撮影)
7	<p>■世界に広がる日本文化について考え、理解を深める。</p> <p>①世界に広がる日本の文化について考える。</p> <p>②外国の人に伝えたい日本文化を考え、発表する。</p>		○		
8	<p>■英語と日本語の違いや世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>①英語として国際的に使われている日本語を考える。</p> <p>②日本在住の外国出身の人について、短い話を聞いて概要を捉える。</p>		○		

**【POINT】**  
ALTのスピーチ内容について、写真等を基に推測しながら聞いたり、やり取りしたりします。内容をただ理解するだけではなく、日本の文化との違いを意識して聞くように指導することや、音声を十分に聞かせた上で、話す活動につなげることが大切です。



**【POINT】**  
日本の遊びや行事について、簡単な質問をしたり、質問に答えたりします。クイズを出し合う活動では、遊びや仕事に関する言葉をヒントとして伝えるなど、第6時の発表につなげることが大切です。



※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「書くこと」など）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることも考えられます。

「話すこと〔発表〕」の指導における目的をもって考えや気持ちなどを伝える活動（小学校）

6 評価例

「話すこと〔発表〕」（知識・技能）（思考・判断・表現）

<p><b>評価場面</b></p>	<p>活動内容：ALTに日本のよさを伝えるために、好きな季節や行事について内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを発表する。</p>	
<p><b>評価方法</b></p>	<p>発表内容の分析、ポストカードの記述分析</p>	
<p><b>児童の発表例及び評価例</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>【児童の発表例】</b></p> <p><u>児童A</u> Welcome to Japan. I like winter. We have setsubun in winter. I usually throw and eat beans. It's fun.</p> <p><u>児童B</u> Welcome to Otohe. I favorite summer. We have a summer festival. I usually swim in the sea pool. Exciting.</p> <p><u>児童C</u> I like winter. I like Doll's Day. I like the song.</p>	<p style="text-align: center;"><b>【評価例】</b></p> <p>児童A <b>〔知・技〕・・・a</b> 正しい表現で話すことができています。 <b>〔思・判・表〕・・・a</b> 日本のよさについて、まとまりのある内容で考えや気持ちを伝えている。</p> <p>児童B <b>〔知・技〕・・・b</b> 相手に伝えることはできるが、表現に誤りが見られる。 <b>〔思・判・表〕・・・b</b> 日本のよさを伝えるための内容としては不十分であるが、まとまりのある内容で考えや気持ちを伝えている。</p> <p>児童C <b>〔知・技〕・・・a</b> 正しい表現で話すことができています。 <b>〔思・判・表〕・・・b</b> 日本のよさを伝えるための内容としては不十分であるが、まとまりのある内容で考えや気持ちを伝えている。</p>

〔実践してみたの成果と課題〕

**【成果】**

- ・ALT からアメリカの行事を紹介してもらうことで、日本との文化の違いに気付き、日本に来たばかりのALTに日本のよさを知ってもらおうという意識付けをすることができた。
- ・発表後、児童一人一人にALTからフィードバックを行うことで、児童がALTに伝えることができたという達成感をもつことができた。

**【課題】**

- ・発表後においても、主語、動詞の使い方について継続して指導を行う必要がある。

## Unit7 Welcome to Japan.

1 季節ごとにどんな行事があるか考えて、書きましょう。

spring

summer

fall

winter

2 自分が好きな季節や行事について、整理しましょう。

好きな季節	行事	すること・食べるもの	感想
例) 春	花見	桜を見る	美しい